

KTK  
NO.123

# あらぐさ通信

後援会費郵便振替口座  
01070-7-32145  
あらぐさ後援会

編集 あらぐさ後援会  
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会  
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3  
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215



昨年はお世話になりました  
今年もよろしくお願ひします



## 『あらぐさひろば大盛況!』

昨年11月、お天気にも恵まれ、あらぐさひろばを開催しました!フラダンスや合唱、琉球祭り太鼓など大迫力のステージや、さわりのファッションショーでは利用者さんやご家族の方、地域の方も参加され、大盛り上がりでした。館内では作品展も開催し、利用者さんたちの作品も見ていただきました。昨年はコロナで開催を見合わせたため、2年ぶりのあらぐさひろば。「久しぶり」「会えてうれしい!」など色々な声が聞こえ、心温まる1日でした。たくさんのご来場ありがとうございました。(編集部)

# きょうされん 第48回全国大会 in 奈良 報告



「どんなに重い障害を持っていても、誰もが人間らしく、そしてその人らしく、自由にゆたかに生きたいと願っています。そしてそのねがいの実現は人間としての権利です。このことは、日本国憲法に、そして障害者の権利条約に定められた人間と社会の見方であり、そのねがいの実現は、社会の努力によってこそ保障されなければなりません。私たちは力を合わせてそういう社会を作らなければならないのです。」

## 「きょうされん開催要項

大会実行委員長越野和之氏 ごあいさつ」より

10月17日・18日の2日間、「はじめよう戦後80年から 咲かせようまんまの笑顔を～みんなのチカラ 奈良の地から～」をテーマに、きょうされん第48回全国大会が奈良市にて開催されました。今大会には、障害のある人600人を含む2,200人、300人のボランティアのみなさんに支えられながらの開催となりました。あらぐさでも、2日間述べ職員9人、利用者8人が参加しました。

大会アピールでは「今この瞬間にも、ウクライナやガザでたくさんの尊い命が危機にさらされています。そして、能登半島地震をはじめ世界でも日本各地でも自然災害が頻発しています。各国及び日本のリーダーに、何よりも大切なのは『いのち』であることを、大会参加者のみなさんと共に強く訴えます」

「今障害のある人を支援する事業所は、危機的な人手不足に陥っています。それは働く職員の労働環境の悪化にとどまらず、急速かつ大幅な物価高とも相まって、障害のある人の生活や生存までも危うくしています。最低賃金は上がりましたが、その元となる障害事業所の報酬は減るばかりです。賃金を抑えざるを得ないことが、職員を確保できない最大の要因となっているのです」と訴えました。そして最後に「多くの人と手を結びながら、だれもが大切にされる社会を作っていく一員となっていきましょう。」と力強く結びました。

(編集部)



## 10月17日(金)

### 「まんまの笑顔コンサート」に参加して

大会第1日目は、昨年(滋賀大会)に引き続き、3人の利用者さんが「まんまの笑顔コンサート」を楽しみに出発しました。

奈良会場に到着し、まず3人が心を奪われたものは、施設の製品が並ぶブースでした。10月と言えばハロウィンの季節。オバケやカボチャのかわいらしい型抜きクッキーを見つけ、手に取るYさん。とても大きなシフォンケーキを見つけ「これホームにお土産やな」と嬉しそうにNさん、可愛いイラストが描かれた緑色のクリアファイルにビビッときたT君。あふれる人と大きな会場でも、自然でありのままの魅力的な姿に、私たちも笑顔になりました。

会場に入り、コンサートの前に、「戦後80年障害のある人と戦争を考える」シンポジウムに参加しました。分厚い冊子を手し、真剣に話を聞くT君です。「難しいな」と聞きながら、分からないことや知りたいと思ったことがあると、森下職員に聞いていました。楽しいことだけでなく、難しいことにも熱心に聞こうとする姿が印象的でした。

いよいよ、お待ちかねの「まんまの笑顔コンサート」です。職員さんと利用者さんによる奈良オールスターズのみなさんから、『あなたが笑顔になるのはどんなとき!』と聞くので、伝えたいことがある人は舞台上がってくださいーい!』と呼びかけられました。

T君に「どんな時?」と聞くと、「コーヒー飲んでいる時かな。」「舞台に行ってみる?」と聞くと、スッと立ち上がって「行ってくる」と森下職員と一緒に舞台上。Nさんも一緒に舞台上がり、「翼をください」を奈良の利用者さんたちと一緒に歌いました。最後は奈良市役所職員による「よさこい踊り」です。Yさんも立ち上がり両手を動かし、笑顔いっぱいになっていました。

「来年は大阪やな!」と次の目標が出来た3人でした。

(後藤)



## 10月17日・18日(土) シンポジウムに参加して

1日目は特別シンポジウムで「被爆・戦後80年障害のある人と戦争を考える」というテーマの講義を聞き、障害のある方と戦争について考えました。あらぐさでも取り組んでいた「おりづるプロジェクト」の話の聞いたり、折り鶴を沖縄、長崎、広島に届けた映像をみて、自分たちが取り組んでいた活動のつながりを感じることができました。

2日目の分科会では、「通所施設における重度重複障害のある人の加齢に伴う支援」というテーマでレポート発表、滋賀大学名誉教授の白石恵理子先生の「支援で大切にしたいこと～本人さんはどう思てはるんやろ～」という講義、参加者それぞれの施設で抱えている課題や支援の共有をしました。

まず、「加齢が進むにつれて食形態を変えていく必要があるときに、家族は食材が分かるように今の形態で食べてほしいと思っているが、事業所としては誤嚥などのリスクを考えペーストにしたいという場合、どのように家族に伝えていくのがいいか、親の思いや本人の食事への楽しみをどのように考えていくのか悩むことがある」という意見に対して事例があげられました。

A 事業所：元々は1時間かけて完食していた利用者さんがいたが、加齢により食事ペースが落ち、食べきれない。(体力を考えて)1時間で食事時間を終わるという選択に至り、現在ではさらに短くなった。食事は減り栄養は完全には取れていないのではないだろうか、職員としてはもやもやする気持ちがあった。胃ろうの案も出ていた中で、ご本人は食べることが大好きな方であり、関係者会議で話を重ねたうえで「口から食べる」ことを優先。本人が食べたいものを楽しむという決断に至った。

B 事業所：以前まで施設のご飯を食べていた利用者の食形態が変わることになり、外部から取り寄せる必要性が出てきた。医療職からの視点では、安全性を考えた上での判断だったが、職員は施設のご飯のほうがおいしそうに楽しく食べていたように感じる。しかし、「長く口から食べられるように」という思いは共通してあったため、安全性を考えた上で外部取り寄せの判断に至った。

2つの事業所の事例を聞き、私たちと同じような悩みや課題を持っていることを知りました。



白石先生から「悩むからこそモヤモヤする。そこを大事にできる職場の人間関係は素晴らしい。分からないからこそ話をする」という言葉が印象的でした。

ご家族、職員、医療職など利用者さんの周りにはいろいろな立場や経験を持った人がおり、一人ひとりの考え方は違っていても当たり前。だからこそ話を重ねていくことが必要であると思いました。利用者さんのことを考えようとする気持ちやねがいは共通したものがあつた。その共通点を話し合うことで利用者さん本人にとっての最適策を考えていくことが大切なのだと思いました。

「そこを大事にできる職場の人間関係は素晴らしい」と話をされていたように、私もグループ内での悩みや思いを大切にできる職員になりたい。そして、グループとしても、それぞれの職員の気持ちを大事にできる関係を作っていくことが大切だと学ぶことができました。

2つ目は、「利用者さんの高齢化に合わせた事業内容」についての事例でした。

C 事業所：親は仕事をすることよりもリラックス、ゆったり、余暇時間を求める方が多い。利用者さんの高齢化もあるが、時代の流れも変わってきていると感じている。今の活動(作業)が利用者にあっているのかを考えることが大切。

D 事業所：就労B型と生活介護のグループがある。昨年度B型が受けていた下請けの作業がなくなってしまった。生活介護でも同じ下請けをしていたが、一部の利用者にはあわない作業だった。この下請けの作業がなくなったことで、生活介護の利用者が何をしたいか考えるきっかけになり、みんなが取り組める仕事を探すことができた。

私がいるあらぐさのAグループでは、重度重複障害のある20～70代と幅広い世代の利用者さんがおられます。それぞれの世代に合わせて活動を考えるだけでなく、「本当はどう思っているのか」という視点を持つことが必要なのだと思いました。

「本人の持っている願い」や「生活を豊かにしていくためには」という視点を持って、一人ひとりに合わせた活動内容の見直しや本人の気持ちを捉えなおす時間を作っていこうと思いました。

2日間でいろいろな方の話を聞き、新たな気づきや考え方の変化など多くのことを学びました。グループや施設に持ち帰り、つなげていきたいと思いました。(廣瀬)



# 各グループからの報告



## 「初詣に行きました！」デイ2

年が明けて1月6日に、デイ2毎年恒例の初詣に行きました。それぞれのグループに分かれて神社に行きました。静かな雰囲気の中で参拝が出来ました。少し歩いて景色を楽しまれた後お参りをし、それぞれ思い思いにお願い事をされていました。新しい年の始まりを感じる1日となりました。(西岡)



## 「壁掛け作り」Bグループ

Bグループでは壁掛け作りをしています。ハロウィンやクリスマスなどの季節に合ったモチーフをちぎり絵やフェルトを使ってデザインしています。

現在、日本らしいものって何かな…と考え、富士山と大文字山の壁掛け作りに取り組んでいます。同じ山でも、みんなの思いが詰まっているので、それぞれ違った表情をしているのが面白いです。完成したらぶらり嵐山に出店予定です。(坂本) (写真は5p)

## 「にじいろいろいろ展」ワーク

12月12日～21日に向日市のwindfallgalleryさんで『にじいろいろいろ展』を開催しました。ワークセンターのさをり織り製品とデイセンター2の草木染め製品の展示会です。展示会前日には、メンバーさんと搬入し、素敵な空間に仕上げる事が出来ました。

お客様からは、『素敵な作品が沢山あり、わくわくしました！』と嬉しいコメントを頂きました。地域の方に製品を手にとって頂き、さをり織りの魅力や手織の温かさを伝える事ができ、とても良い展示会になりました。(三浦)





### 「お芋栽培」Cグループ

Cグループで、初めてお芋を育て、秋に芋ほり大会をしました。みんなで生い茂ったお芋の葉をかきわけ、「ヨイショ！ヨイショ！」と芋の茎を引っ張ると、次々と色々なサイズのお芋が出てきます。大きなお芋が出てくると思わずのぞき込む方も。にぎやかで、楽しい芋ほり大会でした。

収穫後、みんなでハニーバターポテトにし、お腹も大満足。今回、初めてのお芋栽培でしたが、今から来年のお芋栽培が楽しみです。(佐名木)



Bグループ 壁掛けづくり

### 「メリークリスマス！」Aグループ

Aグループではサンタやトナカイになりきり、クリスマス会をしました。クリスマスの飾りやツリーの準備、ケーキやジュースまで自分たちで作りました。ケーキを食べるのを楽しみにワクワクしていたり、クリスマスソングではしゃいでいたり、サンタクロースのコスプレでおしゃれを楽しんでいたりと、いつもと違う特別な雰囲気になりました。みんなが笑顔になったクリスマス会でした。(廣瀬)



## 「お祝い」いろいろ

ケアホームいろいろでは、誕生日を大切にしています。利用者さんの誕生日には、ケーキや焼きそばパーティーなど、ささやかなお祝いをしています。

昨年は3月に還暦、9月には古希を迎える方がおられました。そのような節目には盛大なお祝いをします。いつもより豪華な一品で、楽しい日となりました。

1年後には複数の方が還暦を迎えます。年齢に合わせた生活へと見直すことが課題となりますが、これからも皆さんの誕生日を大切にしていきたいと思えます。(栗野)



## 報告 一能登被災地支援のつどい



11月15日～21日まで、光明寺門前の「アトリエ畔」で「能登被災地支援のつどい」が開催されました。来客や支援くださった方々は1週間で述べ200名余。向日が丘支援学校の元保護者、教職員、地域の皆さんで、「20年ぶりやなあ」「今も元気だよ」と楽しい交流の場となりました。

カフェでは、輪島の障害者事業所「あすなろ会」の焙煎コーヒーを提供。あらぐさのクッキーやさをり織り等の製品、きょうされんの物品、皆さんから寄せられたバザー用品を展示販売しました。

ご来客の皆さん、物品ご提供の皆さん、能登被災地へのご支援ありがとうございました。皆さんのカンパ金は1月、きょうされん石川支部へ届けました。(事業部)

後援会の会費は下記の活動経費として、大切にに使わせて頂きます。

- 1) あらぐさ通信の発行
- 2) 「あらぐさひろば」や後援会イベント
- 3) あらぐさ福祉会への支援

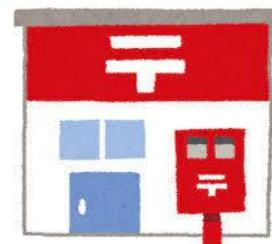
後援会の加入更新・新規加入のほど、よろしくお願ひします。

<後援会費> 1口1000円(個人) 2000円(団体)

<あらぐさ支援募金> 1口1000円

振込先 郵便局口座・番号 01070-7-32145

名義 あらぐさ後援会



## 法人報告

### 京都イブニングロータリークラブ様から ご寄付をいただきました。

同クラブ様からは、あらくさがまだ無認可の時代から30年以上にわたり、バザー、リンゴ狩り、芋掘り、バーベキューなど、資金作りのご協力や利用者家族との楽しい合同の企画の提供など、ご支援を続けていただけてきました。

今年度、10月にはあらくさの製品や作品がプリントがされた「あらくさオリジナルハンドクリーム」100本のご寄贈、11月は「あらくさひろば」にご参加いただき、同クラブ「なんでも市」の売上げをあらくさ福祉会に寄付していただきました。長きにわたり心強いご支援に、

心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



### 照明器具を蛍光灯からLEDへ

2027年末をもって従来の蛍光灯の製造が停止されることから、各建物ではLEDへの交換が必要になりました。

このたび、長岡京市商工会様より照明器具のLED化を行う長岡京市内事業者を支援する目的で、「LED工事券」のご案内がありました。さっそく応募をしたところ、工事券としてLED工事費の半額程度を支援していただき、ケアホームかざぐるまとケアホームいろいろどり（たちばな棟）の電球をLEDに変更することが出来ました。

「部屋がとても明るくなった」と利用者職員一同、喜んでいきます。

ご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ケアホームいろいろどり  
たちばな棟



ケアホームかざぐるま

### 2025年度 会員加入・更新 支援募金 ありがとうございます。

(2025年8月5日～12月15日 敬称略・順不同)

(株)長岡美装社 (有)タニグチ谷口忠行 青嶋芳文 浅倉静代 浅輪信子 厚地芳美 粟田士郎 粟田紀江 阿波谷陽子 池田廣子 池田弥保子 井古テル子 石井憲生 五十棲福男 伊藤憲一 因幡広和 井上敏子 井上はる奈 今井和子 今井正 今井里香 岩佐瑞紀 上野志保子 浦さち子 一般社団法人江後経営

大槻さつき 大月裕子 大畑京子 岡田和世 岡田多賀子 小川真寿美 乙訓地区労働組合協議会 掛川あづさ 金森たえ子 加畑恵子 鎌田桂子 川瀬明子 岸陽子 桐山俊宏 金原道雄 草野廣 窪島敏子 上坂 愛子 佐伯敏子 坂本憲哉 佐々木康二 佐々木則子 佐藤敦子 佐野顕治 佐野さかえ 柴田和泉 嶋本芳輝 嶋本美恵 住田珠江 瀬川信也 瀬川良介 関正雄 高千穂空 鷹野安子 高橋恭三 高橋すなお 高橋 光子 竹中哲夫 多田和子 田中洋子 谷早苗 俵福造 長誠一郎 長理恵子 時田麻里 富島ますみ 長岡天満宮 中川慶子 長島里香 中村澄子 夏原典子 西野由美子 西村秀晴 西村宗昭 株式会社ハウジングステーション代表取締役山下吉昭 波多由紀子 はれの樹スペース シャルニーズ デンタルクリニック大橋瑞己 ぼんだ企画 平岡芳子 平田喜洋 平塚洋子 平野元子 昼神仁美 廣瀬愛 福祉保育労あらくさ分会 堀川幸男 前田知臣 前田仁 榊井良子 松居正利 松岡稔 岩倉美希 松野享 松間卓 松村昭子 松本美津男 松山幸次 松山雅子 真殿尊子 道場恵美子 南ゆかり 宮田啓子 宮本史朗 村井悦子 村野英介 毛利靖子 森垣美知子 森川浩世 藪見富喜男 山口都子 山田陽子 山中繁 (株)ゆう建築設計事務所代表取締役岩崎直子 横川和男 横川喜美江 吉永雄司 吉永和子 脇田暢子 渡辺裕子 記名なし2名 匿名希望16名

(12/15～通信発行日までにお振込いただいた方に会費納入用紙が同封されることがあります。その節は何とぞご容赦ください)

# あらぐさと私

障害福祉センターあらぐさ

## 送迎運転手の皆さん



納谷さん 岡村さん 亀川さん 関さん

### 亀川 義昭さん

あらぐさにお世話になって早いもので10年が過ぎました。当初、全然経験のない運転手という職種で人を乗せる事に躊躇しましたが、利用者さんが私に慣れていただけるように努めてきたつもりです。

また、コロナや自分自身の健康等で不安な時期もありましたが、今は利用者さんの頑張る姿と笑顔に助けられています。

あと少し無事故で勤めさせて頂ければと思っています。

### 岡村 渉次さん

あらぐさとの出会いは相当前です。そろそろボケ防止に何か仕事でもと思っていた時に、いどりに勤める娘の友達から「運転手さん、どうですか？」とお声がかかり、それではとやりだしたら、長いこと居座ってしまいました。

当初は利用者さんが、なにを言っているのか、なにを欲しているのか分からず、全く会話ができませんでした。毎日送迎をしているうちに、ご家族さんとも会話ができるようになり、利用者さんの言動の意味を教えるうちに、一語言葉の利用者さんとも、かなり会話ができるようになり、今では結構しゃべっています。特に自閉症の方などは、いつものルーティーンが外れるとパニックになられるので、やさしく伝えるようにしています。

定年まではもう少しですが、まだしばらく居りますので、皆様と仲良くすごせればと思います。

### 関 正雄さん

あらぐさに来て約3年になります。大山崎町に移り住んで早50年、子供達(娘2人)も嫁に行き、現在は妻と2人暮らしをしています。

趣味は本読み、主に時代小説を好んで読んでいます。他には旅行(城めぐり)やドライブが好きです。コロナ前には日本名城100選(都道府県に必ず1つ以上ある)をめぐる旅をしていましたが中断し、令和8年には、残り7城(北東北、北海道)をめぐり、完遂したいと思っています。

### 納谷 成則さん

出身地：和歌山市 現在：長岡京市在住

家族構成：妻1人、チワワ(CoCo)1匹

経歴：電器メーカーP社勇退後、直近ではSS会でデイサービス送迎ドライバーをしていました

趣味：映画、音楽(モダンJAZZ・ロック)鑑賞  
高校時代はバンドでドラム担当。車バイクでは数々の記録を樹立。生ける伝説となる。

意気込み：送迎では安全運転に徹します。

それでは「今日もご安全に行ってきま〜す」



ホームページ

<http://www.aragusa-fukushi.jp/>